

平成 28 年 10 月 8 日 (土)

クロスペンアカデミー秋期講演会



10月8日(土)午前10時から伊那文化会館大ホールで、歴史家・作家の加来耕三先生をお招きしてクロスペンアカデミー秋期講演会を開催しました。加来先生は、歴史関係の著作・講演のほか、専門知識を駆使して時代考証、テレビ・ラジオ番組で監修・構成・出演などを多数手がけられています。講演内容は、演題『歴史に学び、未来を読む』のとおり、戦国の三英傑や関ヶ原の戦い、真田信繁、坂本龍馬から始まり、今日的な集団的自衛権や国家予算の話に到るまで、常に疑問を持ちながら歴史を正しく認識して、現在・未来を考えていく重要性を強調されました。生徒の感想の一部をご紹介します。

「地に足をつけて今を生活する」その大切さを教えていただいたと思います。織田信長や坂本龍馬に日本人が憧れる理由も納得でき、人が成功するのは、それまでの下積みや努力があったからということも理解できました。そして、自分は知ったつもりでいて、その本質をほとんど知らないのだと思いました。「過去の歴史を見ることで未来が見えてくる。」このことが今日の講演で強く印象に残りました。歴史が刻まれてきたことから現代がある。私が歩んできた道があるから現在がある。歴史は繰り返される。歴史を見れば、これから起こることが見えてくる。兆しを知ることができる。それらのことを学ぶことができました。

